

復興釜石新聞

5月24日(土)

第296号

〒026-0044 釜石市住吉町3番3号 TE

志茂田さん(直木賞作家)読み聞かせ

釜石 保育園 絵本で園児と交流

直木賞作家で絵本作家としても活動している志茂田景樹さん(74)が19日、釜石市甲子町の釜石保育園(藤原けいと園長、園児75人)を訪れ、絵本の読み聞かせや昼食を園児と一緒に食べるなど交流した。

志茂田さんは1998年から全国各地で子どもたちへの読み聞かせ活動を始め、99年に「よい子に読み聞かせ隊」を結成。隊長として絵本の持つ力や読み聞かせの素晴らしさなどを伝えている。震災後は被災地で仮設住宅の住民や子どもたちの心を癒やすために活動を継続。今年3月には釧路市動物園を舞台とした「キリンがくる日(ポプラ社刊)で第19回日本絵本賞読者賞を受賞している。

この日は、ピラニストでシンガーの、みのもたみことさんらと来園。志茂田さんは、みのもたみのピアノ伴奏に合わせて、自身の作品「ちいさなちいさなぞうのひみつ」などを読み聞かせた。園児は、身ぶり手ぶりを交えた志茂田さんの熱演に引き込まれ、物語の世界を楽しんだ。読み聞かせのお礼に、園児は元気な歌声で「さんぽ」を披露。望月翔太君(4)と金野悠人君(4)は「絵本おもしろかったよ。(熱演の)志茂田さんはかっこよかったです」と笑顔を見せた。

志茂田さんが釜石を訪れたのは今回で3回目。「いい目をしたみんなが大きくなるのが楽しみ。いろいろ学んで楽しく遊んでね。いつかどこかでばったり会いましょうね」と園児に呼びかけていた。